

平成23年3月31日

各位

会社名 日本郵船株式会社
代表者名 代表取締役社長 工藤 泰三
コード番号 9101
上場取引所 東証・大証・名証各第一部
問い合わせ先 企画グループ長 浦上 宏一
TEL 03 (3284) 6189

当社グループ中期経営計画“More Than Shipping 2013”策定の件

当社グループは、この度2011年4月からスタートする3ヵ年の新たな中期経営計画“More Than Shipping 2013”を策定しました。

2008年度から2010年度までを対象とした中期経営計画“New Horizon 2010”においては、「成長」「安定」「環境」の3つを基本戦略とし、激変する外部環境に対応しながら、当社グループの企業価値及び株主共同の利益の向上に努めてまいりました。

新中期経営計画“More Than Shipping 2013”においては、「アジアの成長を世界へ繋ぐ」をテーマに、下記の基本戦略及び業績目標、投資計画を基軸として、当社グループの永続的成長を目指してまいります。

記

1. 基本戦略

「More Than Shipping = 従来海運業 + α の戦略」

4つの戦略

- (1) 物流事業を活かして、アジア域内・発着輸送に対応
- (2) 自動車物流・ターミナルを活かして、アジアでの完成車輸送に対応
- (3) 技術力を活かして、より高度なエネルギー輸送に対応
- (4) 世界ネットワークを活かして、海外資源エネルギー輸送に対応

2. 業績目標

業績目標及び前提は次のとおりです。

(単位:億円)

科目	2010年度 (予想)	2011年度 (計画)	2012年度 (計画)	2013年度 (計画)	2016年度 (目標)
売上高	19,300	20,000	21,000	23,000	27,000
経常利益	1,200	800	1,000	1,300	1,700
当期純利益	760	500	750	950	1,250

<前提>

為替	¥86/US\$	¥85/US\$	¥85/US\$	¥85/US\$	¥85/US\$
燃料油価格	US\$491/MT	US\$650/MT	US\$650/MT	US\$650/MT	US\$650/MT

*2010年度予想数値・前提は、第3四半期決算発表時のものを使用しております。

3. 今後の投資計画

船舶運航規模及び投資計画は次のとおりです。

(1) 船舶運航規模

		2010年度末	2013年度末	2016年度末
コンテナ船 (うち長期固定船隊)		93隻 (83隻)	110隻 (80隻)	110隻 (63隻)
自動車船		115隻	120隻	130隻
ドライ	ケーブサイズ	105隻	120隻	110隻
	ポストパナマックス・パナマックス	84隻	100隻	110隻
	ハンディ(含むボックスシェイプ型)	147隻	180隻	200隻
	チップ船	50隻	60隻	60隻
リキッド	タンカー	104隻	105隻	105隻
	LNG船	30隻	30隻	35隻
その他船舶		92隻	95隻	100隻
合計		820隻	920隻 + α	960隻 + α

(2) 投資計画

投資計画 2011-16年度竣工ベース		①(億円)	②(億円)	①+②(億円)	
		既決投資	投資計画	投資金額合計	
船舶	コンテナ船	290	0	290	
	自動車船	800	1,100	1,900	
	ドライ	大型バルカー	3,200	0	3,200
		中小型バルカー	3,700	1,000	4,700
	リキッド	タンカー	500	200	700
		LNG船・海洋事業	600	2,000	2,600
その他船舶		1,600	0	1,600	
非船舶	物流	10	300	310	
	その他非船舶	2,300	400	2,700	
合計		13,000	5,000 + α	18,000 + α	

以上